

2023年度
応用化学科 2年次生
説明資料

応用化学科教務委員 大庭・茂野

お知らせの周知方法について

- ・学科から学生への連絡は学科専用SNSで行われています
- ・Viva Engageと呼ばれるSNSで、スマートフォンやWebブラウザでアクセスできます
- ・教員への質問もこのSNSでできます

相談窓口について

- ・相談先が分からない場合はクラス担任へ連絡しましょう
- ・学科へ匿名で相談したい場合は下記リンク先へ
<https://forms.office.com/r/4Q4MG1ddj5>

必修科目が不合格になると翌年に困ることがあります

- ・1~3年で 必修科目が時間割上 **重なる**ときがある
落とすと 翌年度 履修できない場合がある。

以下の場合にはクラス担任に相談するのがよいでしょう

- ・昨年度落とした必修科目がある
 - 後期の履修が正しいか。翌年度の履修計画はどうか。
- ・前期に落とした科目がある
 - 後期に再履修者向けの特別授業があるか
 - レポートを出していないために不合格なら
これから受け取ってもらえるのか
 - 欠席が多くXになっているが欠席していないまたは
出席停止だった
 - シラバス記載の評価方法で計算したが合格しているはずでは

修得単位数が普通な学生



半分過ぎた ⇔ 今の倍の単位はいくつ？

留年してしまう例と2年次の最低ライン

CA, CJ, CTコース

修得単位数が少ない学生

1年	2年	3年	4年
42	40	35	7単位

70 104

3年次終了時の修得単位数が104単位未満の場合、留年です。

2年終了時 ⇒ 最低ライン、70単位は必要

CA, CJ, CT

今年度の 学習の目標

CA, CJ, CT

2年終わった時に

できれば82単位↑
最低 70単位

必修科目は当然

「卒研不足単位数」

の各項目の数字を減らせるような履修登録をすること！

「卒研着手条件科目不足科目数」

の数字をゼロにするような履修登録をすること！

成績表

区 分	卒業要件	修 得 単 位					合計	◎注1	◎注2	履修中
		1年	2年	3年	4年	認定		卒業不足	卒研不足	
導入系	1	1					1			
倫理系	2							2		
人文社会系	10	6	4				10	4		2
倫理人社自由	2									
健康体育系	1	1					1			
英語基礎系	4	2	1				3	1		1
言語応用系	3	3					3			2
数理情報系	6	6					6			
キャリア系	3					3	3			
共通基盤選択	-									
共通基盤合計	32	19	5			3	27	7		5
専門導入必修	-									
専門導入選必	-									
● 専門導入選択	-						6			
● 専門基礎必修	10	10					10			
● 専門基礎選必	-									
● 専門基礎選択	-	8					8			
● 専門 必修	24		4				4	20		4
● 専門 選必	-									
● 専門 選択	-		10				10			12
● 専門教育選択	41						24	17	22	
任意	17									
総合計	124	43	19			3	65	59	39	21

◎注1 卒業要件の区分ごとの必要な単位数は学科/コースでそれぞれ設定が異なります

◎注2 卒研着手条件科目不足科目数 3) ← GPA 学期末(1.86) 累計(1.71)

◎3年生終了時まで(0)にしないと卒業研究に着手できません=卒研未着=留年

担当教員 神奈川 太朗

【着手者:指導教員】【1~3年生:クラス担任】看護学科は1~4年生のクラス担任

3年次終了時での資格判定も見据えた履修登録

工学部 応用化学科

2022年度入学生 卒業研究履修の資格

4年次において卒業研究を履修するためには、次表に示す条件を満たしていなければならない。

A		J		E	
3年次終了時の必要単位数 104単位 (共通基盤教育: 26単位以上を含む)		3年次終了時の必要単位数 110単位 (共通基盤教育: 30単位以上を含む)		*注1	
修得していなければならない科目					
スタディスキル 情報リテラシー キャリア設計 キャリア開発 身の回りの数学 実感する科学 I	6 科目中 4科目	スタディスキル 情報リテラシー キャリア設計 キャリア開発 身の回りの数学 実感する科学 I	6 科目中 4科目	スタディスキル 情報リテラシー キャリア設計 キャリア開発 身の回りの数学 実感する科学 I	6 科目中 4科目
英語 I 英語 II 英語 III 英語 IV 英語 V 英語 VI	6 科目中 3科目	英語 II 英語 III 英語 IV 英語 V 英語 VI	5 科目中 3科目	英語 I 英語 II 英語 III 英語 IV 英語 V 英語 VI	6 科目中 3科目
環境化学実験 合成化学実験ユニットプログラム 物理化学実験ユニットプログラム 又は物理化学実験ユニットプログラムJ 応用化学実験 又は 応用化学実験J 機器分析ユニットプログラム 又は海外化学研修II	5 科目中 4科目	環境化学実験 合成化学実験ユニットプログラム 物理化学実験ユニットプログラム、 応用化学実験J 生物化学実験 機器分析ユニットプログラム 又は海外化学研修II	6 科目中 5科目	環境化学実験 合成化学実験ユニットプログラム 物理化学実験ユニットプログラム 又は物理化学実験ユニットプログラムJ 応用化学実験 又は 応用化学実験J 機器分析ユニットプログラム	5 科目中 4科目
卒業研究体験実習 化学基礎演習 分析化学 溶液の性質と熱力学 環境化学・環境生物 企業における課題と解決を学ぶ 有機医薬品化学入門 又は基礎有機化学 医薬品の効果と反応 又は有機官能基の化学 地球と生命の元素 又は非金属元素の化学 身の回りの金属元素 又は金属元素の化学 化学反応はなぜ進行するのか 又は物理化学基礎 化学反応の応用技術 又は化学工学基礎	12 科目中 10科目	卒業研究体験実習 化学基礎演習 コンピュータ技術の応用 分析化学 基礎有機化学 有機官能基の化学 非金属元素の化学 金属元素の化学 物理化学基礎 溶液の性質と熱力学 環境化学・環境生物 化学工学基礎 化学技術と分離操作 流体とエネルギー 企業における課題と解決を学ぶ 択一した専門デザインから3科目	18 科目中 16科目	卒業研究体験実習 化学基礎演習 分析化学 溶液の性質と熱力学 環境化学・環境生物 企業における課題と解決を学ぶ 化学技術と分離操作 有機医薬品化学入門 又は基礎有機化学 医薬品の効果と反応 又は有機官能基の化学 地球と生命の元素 又は非金属元素の化学 身の回りの金属元素 又は金属元素の化学 化学反応はなぜ進行するのか 又は物理化学基礎 化学反応の応用技術 又は化学工学基礎	13 科目中 11科目
微分積分学 I-c 又は微分積分学 I-d 線形代数学 I-a 確率統計 基礎化学 I-b 又は基礎化学 I-d 基礎力学 I-a 基礎電磁気学 I-a	6 科目中 3科目	微分積分学 I-c 又は微分積分学 I-d 線形代数学 I-a 基礎化学 I-b 又は基礎化学 I-c 基礎力学 I-a 基礎力学 II-a 基礎電磁気学 I-a 基礎電磁気学 II-a	7 科目中 5科目	微分積分学 I-c 又は微分積分学 I-d 線形代数学 I-a 確率統計 基礎化学 I-b 又は基礎化学 I-d 基礎力学 I-a 基礎電磁気学 I-a	6 科目中 3科目
		工業概論 職業指導 I 工業科教育法 I 工業科教育法 II			4 科目中 3科目

注1) A (化学応用コース)
J (総合化学エンジニアコース)
E (教員養成コース (工業))

履修要綱

卒業研究履修資格

必要な科目が
コースによって異なる

2年後期における主な必修科目

履修要綱

教育区分	授業科目	必選別				単位数	週時間数								備考	
		A	J	E	T		1年		2年		3年		4年			
							前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
	基礎力学Ⅱ-a	○	◎	○	—	2				2						限定的に履修し、履修科目の1科目のみを単位修得できる。
基礎	溶液の性質と熱力学	◎	◎	◎	◎	2				2						
	環境化学・環境生物	◎	◎	◎	○	2				2						
i群	化学反応の応用技術	□	—	□	—	2				2						
	化学工学基礎	□	◎	□	◎	2				2						
j群	物理化学実験ユニットプログラム	□	—	□	—	3				6						
	物理化学実験ユニットプログラムJ	□	◎	□	◎	3				6						

コースによって履修すべき科目が異なる

2年後期には専門デザイン科目もあります

履修要綱

教育区分	授業科目	必選別				単位数	週時間数								備考		
		A	J	E	T		1年		2年		3年		4年				
							前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
専	マテリアルデザイン	医薬・有機合成入門	○	□	○	◎	2				2						<input type="checkbox"/> 選択必修の卒業要件 Jコース 3つの専門デザインのうち、択一した専門デザインから3科目以上を修得すること ただし、択一した専門デザイン以外の残り2つの専門デザインの科目の単位修得を妨げない
		有機反応化学	○	□	○	◎	2					2					
		高分子化学	○	□	○	○	2					2					
		エネルギー材料化学	○	□	○	○	2						2				
		医薬品合成化学	○	□	○	◎	2						2				
	環境バイオデザイン	生体物質化学	○	□	○	○	2				2						
		大気・水質環境*	○	□	○	○	2					2					
		環境保全・エコロジー*	○	□	○	○	2					2					
		環境化学計測	○	□	○	○	2						2				
	エネルギーデザイン	エネルギー化学入門*	○	□	○	○	2				2						
		バイオプロセス化学	○	□	○	○	2					2					
		化学プラント工学	○	□	○	○	2						2				
		化学反応工学	○	□	○	○	2						2				
		エネルギーシステムデザイン	○	□	○	○	2						2				

コースによって履修すべき科目が異なる
 選択必修や必修科目もあります

英語科目の修得状況について

CA, CJ

CTは関係ない

「英語(I、II、III、IV、V、VI)」について、
これまでにどれだけ単位修得できただろうか？

卒業要件：共通基盤教育英語基礎系

CA、CJ ⇒ **4科目**の単位修得が必要

TOEICでの単位
認定もあるが
難易度高い

履修条件：

Iを合格できたら ⇒ IIの履修
IIを合格できたら ⇒ IIIの履修・・・

ということは、

1年間に 2科目しか取れない。

⇒ 3～4年生でいっぺんに単位取れない

⇒ 3年後期までに 4科目単位の合格済を推奨

その他

「プレ卒研Ⅲ」

卒業研究を事前に実施するようなイメージ

希望する研究室の教員に、学期冒頭申し出（その教員のOK次第）

実施曜日や時間も教員と相談

CAP外1単位（時間割には掲載されていません）

履修登録しただけでは何も始まらないし単位ももらえません

これまでの「プレ卒研＊」を未受講でもOK

CJ

以降

Jコース向け

CJ

3年生でもJコースを続けるには

「Jコースガイドブック」参照のこと

- ① パーソナルマスタープラン
- ② 分類別要件とGPA

単位落としたら、それだけで
CJ継続 不可の科目あり！

パーソナルマスタープランの後期分を入力しましょう(今期の目標)
前期分の達成度点は後日反映されます。

おわり